

待降節第二主日礼拝

《主日朝礼拝式次第》

【入祭の部】

前 奏(黙祷)
「聞け、荒れ野から」(讃美歌21の237番)
高浪晋一作曲

あいさつ
讃美 美 訳美歌21/229番
開会の祈り
文 読 詩 篇 詩編124篇

【第一部 み言葉の礼拝】

聖書
+ルカによる福音書1章26~38節
+ルカによる福音書1章46~55節
(新約P.100)
応答唱 誉美歌21/38番
教話 井上隆晶牧師
『マリアの賛歌』
使徒信条

【第二部 聖餐礼拝】

奉 献 誉美歌21/72番
教会の祈り(連祷)
平和の挨拶
讃美 荣 誉美歌21/83番
主のいのり
陪餐

+ イザヤ7章4~14節
+ マタイ福音書1章18~25節
・教話 井上隆晶牧師
『神はわれらと共にいます』
・讃美歌21 241、38、236
・交誦詩篇 詩編125篇
・司式補佐 寺田律子
・奏 楽 鹿野幸枝
・献金当番 畑季史子
・受付当番 相澤美子

【応答と派遣と祝福】

讃美 誉美歌21/179番
感謝の献物
栄光の讃美 誉美歌21/24番
祝福の祈り 井上隆晶牧師
後 奏(黙祷)
「いま來たりませ」(讃美歌21の229番)
J.Ch.H.リンク作曲

△讃美歌練習(礼拝後)
△合同祈祷会(礼拝後)
△クリスマス子供会(午後2時)

【本日の礼拝奉仕者】

司式補佐 屋宮英男
奏 楽 飯田雅子
献金当番 ウィル・ピーヴィ
受付当番 小坪英恵

【本日の予定】

- ◇教会学校(朝9時30分)
 - ・お話し: 小坪英恵
- ◇讃美歌練習(礼拝後)
- ◇合同祈祷会(礼拝後)
- ◇定例役員会(午後1時)

【今週の教会での集会のご案内】

- ◇朝の祈祷会
 - ・12月11日(火)午前9時
 - ・12月14日(金)午前9時
- ◇英会話グループ
 - ・12月15日(木)午後7時30分

【次週主日12月14日のご案内】

- ◇教会学校礼拝(午前9時30分)
 - ・お話し: 澤田昌人
- ◇主日朝礼拝(午前10時30分)
 - ・聖書

【12月14日のご案内】

- ・イザヤ7章4~14節
- ・マタイ福音書1章18~25節
- ・教話 井上隆晶牧師
『神はわれらと共にいます』
- ・讃美歌21 241、38、236
- ・交誦詩篇 詩編125篇
- ・司式補佐 寺田律子
- ・奏 楽 鹿野幸枝
- ・献金当番 畑季史子
- ・受付当番 相澤美子

【12月14日のご案内】

- △讃美歌練習(礼拝後)
- △合同祈祷会(礼拝後)
- △クリスマス子供会(午後2時)

聖句

「わたしの魂は主をあがめ、わたしの靈は救い主である神をたたえます。」

(ルカ1..46)

【諸報告・個人消息】

- ①《今週の井上牧師の予定》: 9日(火)午後1時30分「大宮保育園職員礼拝」、13日(土)午前9時30分「大宮保育園クリスマス礼拝」
- ②《12月の教会行事予定》

- 12月7日(日)午後1時「定例役員会」
- 12月14日(日)午後2時「クリスマス子供会」
- 12月16日(火)午前10時「心の病の勉強会」
- 12月21日(日)午前10時30分「クリスマス礼拝」、礼拝後「愛餐会」食事は各自持ち寄りです。
- 12月24日(水)午後6時「クリスマス・イヴ礼拝」

③12月6日(土)昼12時から午後3時まで大阪YWCAクリスマスバザーがあり、都島教会も出店いたしました。10名の方がご奉仕下さり33,621円の売上収益を得ることができました。皆様のご協力に感謝します。

④【祈祷課題】新しい教会堂を立てる為。ウクライナとガザに平和が実現する為。刑務所にいる友と家族の為。子供たちの成長の為。新しい信徒、求道者が与えられる為。

⑤【先週の集会統計】

日	集会	男子	女子	大人	計	礼拝献金
30	CS礼拝	—	1	6	7	¥1,250
	集会	男	女	子ども	計	礼拝献金
30	朝の礼拝	9	14	5	28	¥13,330
2	朝の祈り	4	2	—	6	
5	朝の祈り	1	2	—	3	

⑥【11/30の献金報告】

[月定] 屋宮英男(計10,000円) [感謝] 屋宮英男、安田美穂子、小池律子、中村恵子(計18,184円) [互助] 小渕公子、山千代誠子(計2,000円) [謝恩日] 屋宮英男(計1,000円)

【先週の説教要旨の続き】

もそうですが「本人が治りたい」と思わない限り、いくら医者や周りの家族や友人が助けようとしても治らないのです。38年間ベトザの池で寝たきりの病人にイエス様は「良くなりたいか」と聞かれました。それと同じです。心なごむ会に出席されているOさんという方がいます。この方は、今度洗礼を受けられるそうなのですが、毎回、その口から出る言葉に心がけます。彼女の夫は精神障害をもっていましたが医者にかかり、暴力と暴言を吐いて、家族を苦しめ続けました。夫はやがて亡くなりますが、その後、彼女は精神障害について勉強するようになります。自分が悪かったと思うようになります。彼女はつらい経験から意味を学ぼうとし、決して人のせいにせず、自分を一生懸命変えようとしているのが分かります。そしてそのような人は、見ていて清々しく、周りの人を励ます。カルト宗教から脱会して洗礼を受け、キリスト教徒になろうとする人たちも勇気を与えてくれました。変わろうと努力する人は美しく、神の靈がその人に働きます。だから実を結ぶのです。救い主キリストを迎えるための準備とは何でしょう。悔い改めとは何でしょう。悪いことをやめるといった、この世の道徳的なことではないのです。やめられるくらいなら、神の子の十字架は必要ないのです。悔い改めとは、自分の無力さを認め、救い主を必要とする心です。自分は変わらる必要があり、変わらなければならないという、悔いし碎けた魂です。そのような心の準備こそ最も、神様に喜ばれる準備なのです。この待降節の時「自分は変わりたい」「自分は良くなりたい」と強く願うこと、そしてそれを祈り続けるようにしましょう。

